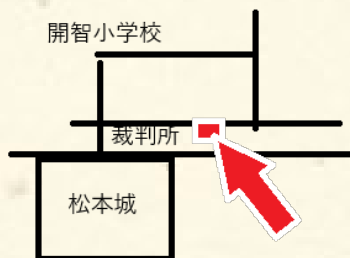


講演：吉永 純氏  
(前花園大学社会福祉学部教授)

場所；長野県弁護士会  
松本在住会館  
松本市丸の内10-18

Zoom併用開催  
予約不要・無料



令和8年8月7日(金)  
午後1時30分～3時30分

最低限度の生活を送れない人々をどう支えるか

# 生活保護引下げ違法判決と 生存権保障の現在地



長野県弁護士会

2025年6月27日、最高裁判所は生活扶助基準引下げに関する訴訟において、減額処分  
の違法性を認める判決を言い渡しました。しかしながら、その後の国の対応については、  
減額調整の継続や補償の限定などが行われており、実質的な救済のあり方が大きな問題  
となっています。

日弁連でも、当該対応は司法判断を軽視し、法の支配や生存権保障に抵触するおそれ  
があるとの指摘がなされ、すべての生活保護利用者に対する全面的補償等を求める声明を  
出しています。

このような状況のもと、生活保護行政の実務経験と研究双方に精通する吉永純さんによ  
る講演を実施し、制度の構造的課題、判決の意義、今後の生活保護のあり方について多角  
的に検討する機会となればと考えます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。



## 講師: 吉永 純 氏

花園大学社会福祉学部教授(2008年～2026  
年)、全国公的扶助研究会会長(2011年～202  
5年)、1979年京都大学法学部卒業、2010年  
京都府立大学大学院博士後期課程修了、博士  
(福祉社会学)。

1982年京都市役所に入り福祉事務所を中心に、  
生活保護ケースワーカー(12年半従事)をはじ  
め生活保護事務、生活保護監査、ホームレス支  
援などに携わる。

著書に『生活保護審査請求の現状と課題』(明石  
書店、2020年)、編著に『Q & A 生活保護手帳  
の読み方・使い方 第2版』(同、2020年)、共編  
著に『判例 生活保護』(山吹書店、2020年)、  
『チェンジ アクション生活保護 ―生活保護裁判  
30年の軌跡』(明石書店、2025年)など



この講演会はオンライン(Zoom)で配信します。

参加を希望される方は、当日時間になりましたら、長野県弁護士会HP  
(<https://nagaben.jp/pages/6/>)に掲載する参加用URLからご参加下さい。

講演会資料は、当日、Zoomチャットに添付する方法で配布します。

本講演会への参加には、パソコン、タブレット、スマートフォンなど、インターネット接続の  
できる機材・環境が必要です。視聴にかかる通信料は参加者の負担となります。



Zoomについては、Zoomサービス規約の内容をご確認戴き、同意の上でご利用下さい。

当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合には、やむを得ずシンポジウムを中止する可  
能性があります(目安として10分以上配信不能となった場合)。視聴者のPC環境・通信状況等の不具合に  
ついて、当会では責任を負わず、Zoomの利用方法等についてのサポート対応等も行いかねますので、予  
めご了承下さい。

参加者による配信内容の撮影・録画・録音は禁止致します。

### ●個人情報の取扱いについて

本イベントはWeb会議システムであるZoomを利用して開催します。Zoomの利用規約やプライバシーポ  
リシーを確認・同意の上でご利用下さい。主催者は配信内容を撮影・録画・録音いたします。なお、長野県  
弁護士会及び共催団体は、参加者が本イベントのZoom接続時に入力した個人情報(氏名・メールアドレス)  
については、取得致しません。



長野県弁護士会

長野市妻科432番地 TEL.026-232-2104

<https://nagaben.jp/>